

自然解説員
かとう ゆういち
加藤 裕一

セミのぬけがら調査隊、結果

21 世紀の森と広場では、7 月 25 日から 8 月 24 日まで、夏の企画展「ドンちゃん・グリちゃんの自然展」が開催され、期間中、公園内の自然に関する展示や動植物に親しむイベントが多数実施されました。今回、8 月 2 日と 8 月 23 日におこなわれた「セミのぬけがら調査隊」の結果をここにお知らせします。

〈セミのぬけがら調査隊〉

セミのぬけがらは、大きさ、色合い、触角などに注目して観察することでセミの種類を調べることができます。セミの幼虫は、地中で何年もかけて徐々に成長し、ある年の夏に地上に出てきて羽化するので、ぬけがらがそこにあるということは、その場所でそのセミが暮らしていた確実な証拠になります。ぬけがらで種類がわかるという点に着目し、各地で、セミのぬけがら調査がおこなわれています。

今回の講座の内容は、公園内でセミのぬけがらを集め、室内に持ち帰りじっくり観察して、ぬけがらからセミの種類を調べてみよう、というものです。8 月 2 日と 8 月 23 日ともに、場所は「水とこかげの広場」でおこない、まず、参加者の皆様に 1 時間ほど自由にぬけがらを集めてもらいました。あちらこちらで次々と「あったー！」や「とったー！」の大きな歓声。両日ともかなり暑い日でしたが、皆様熱心に集めてくださり、30 個近く集めてくれた家族もいました。高いところにぬけがらがついていて、見えているのに採集できない、という声も多く聞かれました。一方、低木や草にもついているのを見つけてくれた親子もいました。

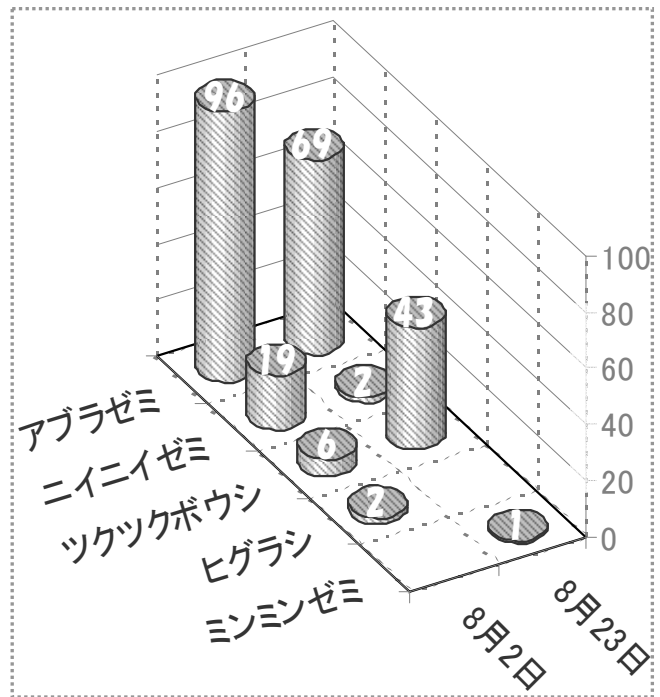
休憩をはさみ、室内でいよいよぬけがらの識別です。一番わかりやすいのはニイニイゼミのぬけがらで、小さくて土がついています。残りのぬけがらのうち、大きなほうはアブラゼミとミンミンゼミ、ひとまわり小さなものはヒグラシとツクツクボウシ



であることを紹介しました。最後に、アブラゼミとミンミンゼミ、そしてヒグラシ

とツクツクボウシの識別方法は、「触角」が決め手であることを紹介し、小さな小さな触角をじっくりと観察してもらいました（触角は折れてなくなりやすいので、採集の時にやさしく扱うことが重要です）。

8月2日と8月23日の結果を右の図にまとめました。日にちごとにしてみると、両日とも見つかった種類は4種類でアブラゼミが最も多かったです。次に、種類別に見てみると、ニイニイゼミは2日には多かったものの23日にはほんの少ししか見つかりませんでした。一方、ツクツクボウシはその逆で、2日の時点では少なかったものが23日にはたくさん見つかりました。ヒグラシとミンミンゼミは両日あわせてもほんの少ししか集まりませんでした。二回の講座をあわせて5種類のセミのぬけがらが見つかりました。一般的に、ニイニイゼミは早い時季から鳴き始める種類、ツクツクボウシは夏休みの後半に多い種類、として知られています。今回の結果からも、そのような傾向が感じられます。



（注意点）

ぬけがら調査の結果を見る時には、いくつかの点に注意する必要があります。代表的な注意点を2つ、今回の結果について具体的に確認してみましょう。

◆上の図を見ると、この公園にはヒグラシやミンミンゼミはほとんど暮らしていないように見えるかもしれませんが、しかし実際には、例えば少し森に入るとヒグラシのぬけがらはたくさん見つかりますし、ミンミンゼミも別の場所ではすぐに何個も見つかりました。あくまで、今回の講座でぬけがら集めをした狭い範囲での結果であり、また、その範囲の中でも、見つけやすい場所・採集できる高さについていたものだけを集めた結果です。

◆8月23日にとれたぬけがらは、8月2日以降のものとは限りません。中には、ずっと前からそこについていたものの、見つけられることなく23日まで残っていたものもあるかもしれません。実際、今回の調査範囲で、2日の時点で既にあったものの、見つけづらい場所にあるため23日まで残っているぬけがらがいくつかありました（2日にあえてとらずに残しておきました）。ぬけがらからは羽化した正確な日にちはわかりません。

その他にも留意すべき点がいくつかあります。いろいろと考えてみましょう。

パークセンター10月・11月の催し物

講座名	日付	費用	定員	講師名	受付開始日
昆虫ウォッチング ～生き物のコミュニケーション・誰かが私を呼んでいる～	10月5日(日曜) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 山口 史穂氏 佐々木 雅裕氏	9月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「葉菜類の栽培と育成(秋まき編)～ハクサイ・キャベツ・中国野菜(チンゲイサイ他)～」	10月7日(火曜) 10:00～12:00	無料	20	元千葉県農業改良普及センター所長 酒井 利夫氏	9月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「秋植え球根の育て方」～チューリップ・スイセン・ムスカリ他～	10月7日(火曜) 13:00～15:00	無料	20	園芸アドバイザー 白澤 嘉子氏	9月15日から
バードウォッチング ～おかしなさい冬鳥たち～	10月11日(土曜) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 直井 宏氏	9月15日から
園芸教室 「タネから育てる野菜作り ～旬な野菜を食べよう～」	10月11日(土曜) 13:30～15:30	200円	25	みどりの相談員 野島 博氏	9月15日から
樹木ウォッチング ～木の美いろいろ～	10月12日(日曜) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 栗田 吉治氏	9月15日から
植物ウォッチング ～じゅくじゅくのんびり楽しもう、秋の植物～	10月19日(日曜) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 加藤 裕一氏	9月15日から
クラフト教室 秋の恵みでハロウィンかざりを作る	10月23日(木曜) 13:30～15:30	300円	20	辺の会	9月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「土壌と肥料」～土壌中の空気・水と根張り～	10月28日(火曜) 10:00～12:00	無料	20	千葉県農林総合研究センター 安藤 光一氏	9月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「果樹の栽培管理」～落葉果樹の剪定～	10月28日(火曜) 13:00～15:00	無料	20	千葉大学助教 三輪 正幸氏	9月15日から
園芸教室 「梅の剪定」	10月29日(水曜) 13:30～15:00	無料	15	みどりの相談員 野口 宣二氏	9月15日から
昆虫ウォッチング 「虫のおうちを使って、お絵描きしよう」	11月1日(土) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 山口 史穂氏 佐々木 雅裕氏	10月15日から
バードウォッチング 「千駄堀池のカモたち」	11月9日(日) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 今村 裕之氏	10月15日から
園芸教室 「楽しく作ろう!開運を呼ぶひょうたん飾り」	11月9日(日) 13:30～15:00	500円	20	みどりの相談員 丸尾 三恵子氏	10月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「ソラマメ、エンドウ類の播種と育成」	11月11日(火) 10:00～12:00	無料	20	元千葉県農業改良普及センター所長 酒井 利夫氏	10月15日から
みどりの講習会 「冬から春まで楽しめる花飾り ～ハンギングバスケット～」	11月14日(金) 13:30～15:30	2000円	20	ガーデンコーディネーター 杉田 佳子氏	10月15日から
植物ウォッチング 「野草のタネを探してみよう」	11月15日(土) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 相澤 章仁氏	10月15日から
園芸教室 「春まで楽しめる花の寄せ植え」	11月16日(日) 13:30～15:30	1,000円	24	みどりの相談員 秋元 満司氏	10月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「タマネギの育成ポイント」	11月18日(火) 10:00～12:00	無料	20	元千葉県農業改良普及センター所長 酒井 利夫氏	10月15日から
東葛園芸クラブ公開学習会 「竹の話」～種類と生態～	11月18日(火) 13:00～15:00	無料	20	ウツティ工房代表 小林 正幸氏	10月15日から
園芸教室 「そば打ち体験」	11月22日(土) 13:30～15:30	1,500円	20	みどりの相談員 野口 宣二氏	10月15日から
樹木ウォッチング 「～色づく木々の観察会～」	11月23日(日) 10:00～11:30	無料	25	自然解説員 栗田 吉治氏	10月15日から
森のクラフト教室 「森の顔絵作り」～秋の森からの贈り物を使って～	11月24日(祝) 13:30～15:30	300円	20	千葉県森林インストラクター会	10月15日から
「クズのついで遊ぼう～クリスマスリース作りと輪投げ・やじろべい～」	11月30日(土) 13:00～15:00 (受付時間)	無料	当日受付	里やまQの皆さん	10月15日から

11月の講座については、10月15日(水)午前9時からの受付となります。

七草ってなにかな？ なんで七草なのかな 知ってる？

自然解説員
かわばた しょうこ
川端 祥子



こう聞かれて思い出すのが「春の七草」や「秋の七草」ではないですか。

ではこれはなにかしら、どう違うのかしらと思いませんか。少し調べてみましょう。

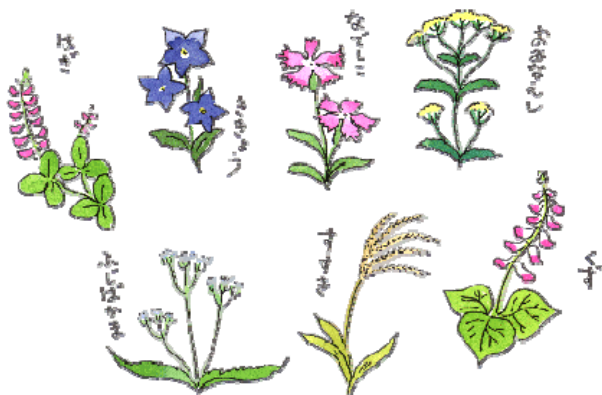
「春の七草」は正月の行事が一段落した七日頃、野原にでかけ、芽吹きだした草を摘んで汁やカクに入れて食した^{しく}もの。これには寒い冬の間の野菜不足を補う意味もあったのではないかとわれています。そのため使われる野草は全部食べても大丈夫なものが選ばれています。七種になったのは平安時代といわれています。

「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ」の七種ですが、現在改良されて野菜として出回っているのは「スズナ=カブ」、「スズシロ=ダイコン」、「セリ」も香りを楽しむために店で売られています。セリは昔からセリ摘み等で野原へ出かける楽しみのひとつになっていたようです。そのほかのゴギョウは今の名前はハハコグサ（キク科）、ホトケノザはコオニタビラコ（キク科）ではないかといわれています。セリ（セリ科）とナズナ（アブラナ科）は今もそのままの名前で使われています。

では、「秋の七草」はどうかというと、1200年位まえに作られた^{まんようしゅう}万葉集に山上^{ヤマノケノ}憶良の詠んだ歌として残されている「秋の野に咲きたる花を・・・」と詠まれ、七種の秋咲く花が続いています。「ハギの花、尾花（ススキ）、クズ花、ナデシコの花、オミナエシ、フジバカマ、アサガオの花」と続いています。この中でハギだけが木で、あとは草の仲間です。

ハギは毎年新しく根元から芽を出し伸びてくるから、草のように見えるため選ばれたのではないかといわれています。また、特に秋をあらわす花として万葉集にも数多くとりあげられているのです。

尾花はススキのことで、月見の時に飾



られる植物として有名ですが、その後は庭や門前にさしたり、畑や田にさして悪霊を近寄せない、悪霊よけの儀礼に使われたといわれています。

アサガオの花は、現代のアサガオではなく、万葉集に夕日を受けて鮮やかにはえる花としてうたわれているので、秋の花のキキョウではないかといわれています。

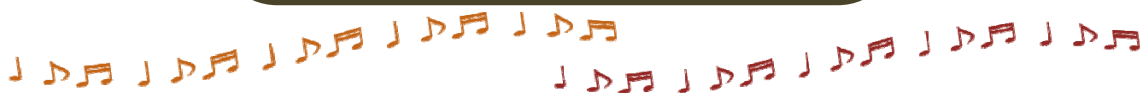
クズはマメ科の植物で、そのツルは繊維質で強くて丈夫なため、細くさいて衣服の材料として使われていて、クズ布といわれています。今でも静岡県の掛川で作られていて、コートや帽子になっています。また、花や根も漢方薬として使われています。特に根からは良質のでんぷんがとれ、解熱作用があるため風邪薬としてや食料としても使われ、大切な植物とされています。

このように、春の七草は食料として、秋の七草は花を楽しむだけでなく悪霊よけや、衣類や薬、食料として大切にされていた植物なのです。その代表的な植物を次の時代へ伝えるために書き残したとも考えられるのではないのでしょうか。



21 世紀の森と広場ドコでもシアター

次のドコでもシアターは
11月29日（土）の予定です



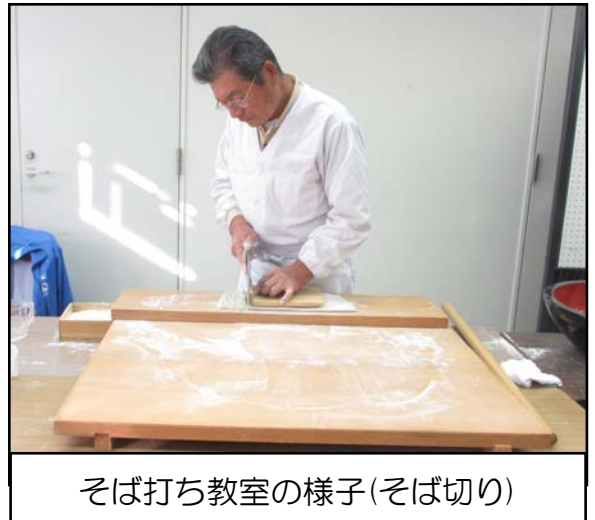
健康食品ソバ

みどりの相談員
野口 宣二

日本のソバ栽培さいばいの始まりは5世紀頃からとされています。日本人にとってソバほどなじみの深い食べものは他に類を見ないようですが、いざ食べるとなると、つい「そば屋」に行ってしまう、なかなか自分でつくることまではしないものです。「そば屋」にばかり任せないで、大いに自分でつくって食べてみてはいかがでしょうか。

幸いにして当センターでは「そば打ち教室」が年々開催されていますので参加して自分の手打ちそばをつくってみてください。

さて自然食品としてのソバは、動脈硬化どうみやくこうか、肝臓病かんぞうびょうなどに効果のある健康食品として昨今注目されています。消化のよさにあいまって、ルチンなどの成分が注目されていますが、これは今さらのことではなく、昔から修験者しゅげんじゃたちが常に携帯して食べていたように、強精食きょうせいしょく・老化防止食ろうかぼうししょくとしての食べ物だったようです。



そば打ち教室の様子(そば切り)

日本民族の健康をささえてきたともいえるソバは 1000 年以上の歴史をもつ良質りょうしつの穀物こくもつであり各地方で、主食・軽食・おやつとして種々しゅしゅの食べ方が伝わり、飢饉対策ききんたいさくにも利用され人々の命をささえてきた作物です。種子の寿命が長く、やせ地でも栽培でき、寒冷地かんれいちでも栽培が可能です。他の作物よりも短期間で結実・収穫けつじつできることから救荒作物きゅうこうさくもつ(飢饉のときに救い助けることができる作物)として古書にも記されています。

ソバが今日まで食べつづけられた理由は

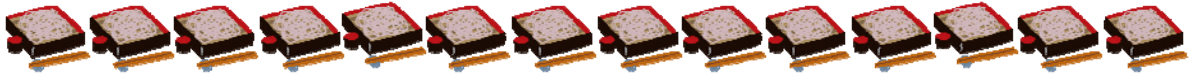
1. 病気や害虫の発生も少なく、つくりやすい作物である。
2. 日本人の口にあった穀物である。
3. 調理方法が多い。(そば切り・そばがき・だんご・そば米など)
4. 米や他の穀物のように長時間加熱しなくても食べられる。(生食・水で溶くだけでも食べられる)

5. 消化吸収がよく、栄養価が高い、薬効があるなどを先人達が体験的に伝えてきた。
6. 酸化・変質が比較的おそく種子の寿命も長い。

このような理由から日常食として私たちの健康維持に役立ってきたことと思います。

年越しそばを「カップめん」と思う昨今、長い間日本人の健康をささえる食べものとして愛され、食べ続けてきたのは純正そば粉を用いた日本のそばなのです。

そばのよさを見直して健康を保つため大いに活用してはいかがでしょうか。



みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問にお答えします。電話でもお受けしています。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738



森のこども館のお知らせ

毎月第一土曜日に森の工芸館で「森のこども館」が開かれています。野菊野こども館のスタッフが、自然体験や工作など、自然の中での遊び方を提供します。動きやすい服装で、ぜひ遊びにきてくださいね。

お問合せ：松戸市野菊のこども館
電話：047-331-1144

～自然観察舎 湿地の観察会のご案内～

自然観察舎では自然解説員と一緒に「自然生態園」の木道を歩く観察会を実施しています。費用は無料です。

実施日	土曜日・日曜日・祝日
実施時間	10:00～10:30
	11:00～11:30
	13:30～14:00
	14:30～15:00
定員	25名（当日先着順受付）

★ご来園の皆様へお願い★

安全、快適に公園を利用させていただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。
自転車（キックボード含む）の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**
 （たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可）などは禁止となっています。
 また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたかくお断りしています。きれいな花もみんなで採ったら無くなってしまいますし、^{かわい}可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえってかわいそうなことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用ください。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん

発行日：2014年10月1日
 発行：21世紀の森と広場パークセンター
 開館：9:00～16:30
 (11月1日～2月28日 9:00～16:00)
 月曜休館（祝日開館／翌日休館）
 〒270-2252 松戸市千駄堀269
 TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>